

平成31年4月入学〔第1回募集〕 広島市立大学大学院 国際学研究科博士前期課程 学生募集要項

一般入試

社会人入試

目 次

1	アドミッション・ポリシー	2
2	授与する学位の種類	2
3	募集人数及び募集概要	2
4	出願資格	2
5	出願手続	4
6	「東日本大震災」、「広島市における平成26年8月豪雨」 又は「熊本地震」で被災した志願者への特例措置	6
7	受験上及び修学上の配慮を希望する者との事前相談	7
8	個人情報の取り扱い	7
9	入学者選抜方法	8
10	合格者発表	10
11	入学手続	10
12	納付金等	11
	教員及び担当授業科目一覧	12
	試験会場案内	14

本学所定様式

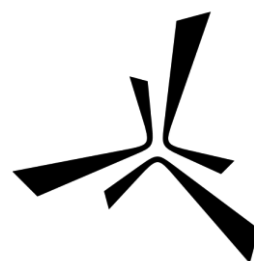
(以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。)

[A票] 入学志願票

[B票] 履歴票

[C票] 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票

入学検定料振込依頼書



Hiroshima City University

発行：平成30年5月

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

この目標とする人材を育成するため、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

国際学研究科では、次のような人の入学を求めています。

- ・ 広い教養を身につけ、世界や地域の様々な課題に関心を寄せている人
- ・ 大学院で学ぶ上で必要な読解力、思考力、表現力を備えている人
- ・ 本研究科の研究分野に関する基礎知識を有し、さらに専門的な知識や研究能力を高めようとする人

2 授与する学位の種類

国際学研究科博士前期課程では、修士論文等の内容及び科目の履修状況によって、「修士（国際学）」、「修士（学術）」、「修士（平和学）」のいずれかになります。

3 募集人数及び募集概要

専攻	募集人数	募集区分		試験日程
国際学専攻	15名	第1回募集	一般入試 社会人入試	平成30年7月21日(土)

- (1) 平成31年4月入学広島市立大学大学院国際学研究科博士前期課程の学生募集は、第1回募集と第2回募集の2回実施します。
- (2) 募集人数の15名は、第1回募集と第2回募集の合計人数です。
- (3) 入学志願者は、第1回募集と第2回募集のいずれか一方、または両方に出願することができます。
- (4) 第2回募集の学生募集要項は、平成30年11月上旬に発表します。

4 出願資格

(1) 一般入試

次の各号のいずれかの資格を有する者（①～⑧については、平成31年3月31日までに該当する見込みの者を含む）とします。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する大学を卒業した者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ わが国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院が所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ⑨ 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成31年4月1日において22歳に達している者
- ⑩ その他、本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

(注1) 上記②に該当する者とは、大学改革支援・学位授与機構(旧「大学評価・学位授与機構」)から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者です。

(注2) 上記⑧により入学した場合、現に在学している大学は退学することになりますので、学士の学位は受けられません。そのため、各種国家試験等の受験資格がなくなることがあります。

(注3) 上記⑨において個別の入学資格審査の対象となる者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」です。

(2) 社会人入試

前記①から⑦及び⑨のいずれかに該当し、本研究科入学時において3年以上の職歴又はその他の経験(例えば主婦、ボランティア活動など)を有する者とします。

【長期履修制度について】

博士前期課程の修業年限は2年間ですが、入学後の申請により「長期履修学生」として認められた場合は、修業年限を延長して入学時から3年又は4年で計画的に教育課程を履修することができますようになります。この場合、正規の修業年限である2年分の授業料を、3年又は4年で納入することとなるため、「長期履修学生」となったことによって納入すべき授業料の総額が増加することはありません。

「長期履修学生」の申請ができるのは、原則として社会人入試により入学した者に限ります。

(3) 事前審査

前記⑧、⑨又は⑩の資格により出願しようとする者は、出願資格認定のため事前審査を行いますので、必ず本学事務局入試グループへ申し出たうえで、以下の書類を提出してください。郵送する場合は、**書留速達郵便**とし、封筒の表に「**国際学研究科博士前期課程・出願資格認定申請書**在中」と赤字で記載してください。提出先は後述「**5 出願手続**」の「**(5) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先**」を参照してください。

審査結果は出願期間までに本人宛に郵送により通知します。

【事前審査書類】

ア 事前審査申請書(本学所定の様式)

イ 履歴書(本学所定の様式)

ウ 研究等業績書

A4用紙を使用。日本語の場合は2000~2400字、英文の場合は1行80ストローク、ダブルスペース1ページ29行として2枚程度。

エ 「**5 出願手続**」の「**(6) 出願書類等**」のうち、⑥~⑧の書類(⑥については最終学歴のもの)

オ 最終学歴の後に取得した学力、資格、検定等の証明書(該当するものがあれば、その写し)

(注1) 本学所定の様式は申し出により交付します。

(注2) 提出書類のうち、日本語又は英語以外の外国語で作成されたものには、必ず日本語又は英語の翻訳を添付してください。

〔提出期限〕 平成30年6月4日(月)午後5時必着

5 出願手続

(1) 事前相談

志願者は、12, 13 ページの「国際学研究科(博士前期課程)教員及び担当授業科目一覧」又は本学ウェブサイト等を参照して、指導を希望する教員、その教員の研究群及び担当授業科目を選択し、**出願前に、本学事務局入試グループを通じて該当の教員と事前相談**を行ってください。

(2) 出願期間

平成30年6月18日(月)から6月22日(金)まで(最終日は午後5時必着)

郵送による出願書類の提出については、**出願期限前日の平成30年6月21日(木)までの消印がある書留速達**に限り、期限を過ぎて到着したものも受け付けます。

(3) 出願方法

指導を希望する教員との事前相談の後、出願書類等を一括して角形2号の封筒に入れ、郵送又は持参の方法により、**出願期間内に本学事務局入試グループ(本部棟2階)に提出してください**。郵送による場合は必ず**書留速達郵便**とし、封筒には「**大学院入学試験出願書類在中**」と赤字で記載してください。

なお、持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

(4) 「修士論文」と「課題研究報告書」の選択について

本研究科では、修了要件の一つである論文等の作成について、「修士論文」又は「課題研究報告書」のいずれかが選択できます。これは、大学院で行われる研究や教育に対するニーズの多様化に合わせ、学術性の高い研究のみならず、専門的職業能力の向上や高度な教養の修得を目指す大学院生の修士号取得を奨励するためのものです。この制度の特徴は次のとおりです。

- ・ 「修士論文」は学術性の高い専門的な論文の作成を目指すものです。一方、「課題研究報告書」は、専門的職業などについて特定の課題を設定し研究を行うものです。
- ・ **本研究科博士前期課程から同博士後期課程に進学を希望する場合は、「修士論文」を作成していることが求められます**。したがって、将来的に本研究科博士後期課程への進学を希望する場合は「修士論文」を選択してください。
- ・ 「修士論文」と「課題研究報告書」の希望選択は出願書類提出時に行います。「入学志願票」の所定の箇所で、選択する方を一つ選んでください。希望選択は、「一般入試」、「社会人入試」の区別なく行っていただきます。
- ・ 大学院入学後に選択の変更を希望する事態が生じた場合、変更が認められることがありますが、これには**指導教員及び副指導教員の承認**が必要です。

※ 「修士論文」または「課題研究報告書」の選択に際しては、**指導を希望する教員に出願前に相談してください**。

(5) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学事務局入試グループ

電話 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

(6) 出願書類等

出願に必要な書類等		作成方法等
①	入学志願票	[A票] 本学所定の様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては、欄外に記載した「記入上の注意」をよく読んでください。
②	履歴票	[B票] 本学所定の様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては、欄外に記載した「記入上の注意」をよく読んでください。
③	受験票	[C票] 本学所定の様式に必要事項を記入してください。 本学所定の様式に必要事項を記入してください。出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cm、上半身、無帽、正面向き、背景なしの写真の裏面に氏名を記入し、のり付けしてください。 入学検定料 30,000 円 を、本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。振込後、「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの)を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお、ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は、通帳及び印鑑(屈印)が必要です。現金による振込はできません。また、本学の振込依頼書と合わせてゆうちょ銀行所定の振込依頼書への記入が必要となります。
④	写真票	
⑤	入学検定料振込証明書貼付票	
⑥	成績証明書	在籍又は出身大学の学長又は学部長が作成し、 厳封 したもの。 (本学の在籍者が出願する場合、厳封の必要はありません。)
⑦	【一般入試】 卒業(見込)証明書	在籍又は出身大学の学長又は学部長が作成したもの。 外国の大学等を修了した者で、卒業証明書と別個の学位証明書があれば、その写しも併せて提出してください。 出願資格②又は⑦により出願する者は、資格を証明する書類を提出してください。
	【社会人入試】 最終学校卒業(修了)証明書等	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。 外国の大学等を修了した者で、卒業証明書と別個の学位証明書があれば、その写しも併せて提出してください。
⑧	研究計画書(4部)	使用言語は日本語又は英語とし、学部の研究レポートや卒業論文において、自分が特に興味を持って調査・研究した事柄や、これまで家庭や職場で直面した問題に基づき、今後大学院博士前期課程において集中的に研究したい課題についてA4用紙5枚程度で具体的にまとめてください(日本語の場合は1ページにつき40字×30行、英文の場合は1行80ストローク、ダブルスペース1ページ29行)。 また、参考となる資料(卒業論文等)があれば、併せて提出してください(日本語又は英語以外の外国語で書かれたものには、必ず日本語又は英語の翻訳を添付してください)。
⑨	返信用封筒	受験票送付用の定形封筒(長形3号, 23.5cm×12cm)に郵便番号、住所、氏名を明記し、 82円分の切手を貼付 してください。

(注1) ①から⑤の様式は、平成31年4月入学【第1回募集】国際学研究科博士前期課程用を本学ウェブサイトからダウンロードしてください。

(注2) 特別な事情により成績証明書等の提出ができない場合は、これに代わる書類を提出してください。
(大学改革支援・学位授与機構(旧「大学評価・学位授与機構」)から学士の学位を授与された場合又は授与される見込の場合は、短期大学成績証明書、専攻科・大学各成績(学位修得)証明書及び大

学改革支援・学位授与機構の学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書等)

(注3) ⑥, ⑦の書類のうち、日本語又は英語以外の外国語で書かれたものには、必ず日本語又は英語の翻訳を添付してください。

(注4) 作成方法の指示どおりに作成されていない書類がある場合(記入漏れ、翻訳の未添付等)は、出願を受理しない場合があります。

(注5) 事前審査該当者で、すでに上記⑥~⑧の書類を提出済の者は、再度提出する必要はありません。

(7) 入学検定料の免除

広島市内の者で、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料の減免を受けることができます。

事前に本学事務局入試グループに相談し、期限までに申請してください。

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

ア 平成30年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

イ 配偶者又は1親等の親族が平成30年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者

ウ その他これらに準ずると本学が認める者

〔申請期限〕

平成30年6月4日(月)午後5時必着

(8) 出願上の注意事項

- ① 平成30年10月入学広島市立大学大学院国際学研究科の学生募集に出願する者は、平成31年4月入学〔第1回募集〕広島市立大学大学院国際学研究科の学生募集に出願することはできません。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合は受付できませんので、出願の際には十分確認してください。
- ③ 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、速やかに連絡してください。
- ④ **いったん受理した出願書類及び入学検定料は返還しません。**
- ⑤ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載と相違する事実の発生や発見があった場合には、入学を取り消すことがあります。

6 「東日本大震災」、「広島市における平成26年8月豪雨」又は「熊本地震」で被災した志願者への特例措置

これらの災害で被災した志願者については、出願後の申請により入学検定料を返還します(出願時には入学検定料の振込みが必要です)。また、合格者については、申請により入学料の減免を受けることができます。

申請手続きには本学所定の申請書及び事実を証する書類を要します。詳細については、入試グループまでお問い合わせいただくか又は本学ウェブサイトをご覧ください。

なお、入学検定料の返還については受験票送付時に、入学料の減免については入学手続書類送付時に特例措置についてのご案内を同封します。

7 受験上及び修学上の配慮を希望する者との事前相談

障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を希望する者は，申請書を作成し，本学事務局入試グループに相談してください。

申請書の様式は申出によりお渡しします。

〔申請書記載内容〕

- ア 志願者の氏名，住所，連絡先電話番号
- イ 障害等の種類・程度（医師の診断書又は障害者手帳（写）を添付）
- ウ 受験上の配慮を希望する事項
- エ 修学上の配慮を希望する事項
- オ 日常生活の状況

〔申請期限〕

平成 30 年 6 月 4 日（月）午後 5 時必着

8 個人情報の取扱い

① 出願書類等に記載された個人情報（氏名，生年月日，性別その他の個人情報等）は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。

また，同情報は，合格者の入学後の教務関係（学籍，修学指導等），学生支援関係（健康管理，奨学金申請，授業料免除申請等）業務及び調査・研究（入試の改善や志願動向の調査・分析等）を行う目的を持って本学が管理します。

② 上記業務の一部は，個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じた上で，外部の業者に委託する場合があります。

9 入学者選抜方法

(1) 一般入試

① 学力検査等の実施日程

日程	時間割					
平成30年 7月21日（土）	9:30	11:00	12:10	14:10	14:50	17:00
	筆記試験 (外国語)			筆記試験 (共通問題及び 専門問題)		口述試験

② 試験会場

広島市立大学（広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号）

③ 学力検査の配点及び内容等

試験科目（配点等）			学力検査の内容及び評価基準
筆記試験	外国語 (200点)	90分	<p>【内容】母語以外の言語で、英語、フランス語、中国語、ロシア語、ドイツ語、ハンデル、日本語のうちから1言語を選択してください（入学志願票の外国語受験科目欄の外国語の中から、選択するものを○で囲んでください）。</p> <p>【評価基準】国際学研究科で学ぶ上で必要な読解力、論理的思考力、文章表現力等をみるために、それぞれの言語で出題し、解答を点数化して評価します。</p>
	共通問題 (50点)	120分	<p>【内容】現代社会を理解するために必要と思われる基本的用語（キーワード）に関して、100字以内でその解説を求めます。</p> <p>【評価基準】基本的用語の理解度を点数化して評価します。</p>
	専門問題 (150点)		<p>【内容】志願者の志望する研究群に関連したやや広い学問領域について基本的知識を試す問題と、志望研究領域（授業科目）を中心にした問題を出題します。原則として日本語による出題ですが、専攻分野によっては外国語による出題もあります。</p> <p>【評価基準】理解度、論理的思考力等について点数化して評価します。</p>
口述試験 (ABCの3段階評価)			<p>【内容】提出された研究計画書、参考となる資料、志望する研究領域（授業科目）の内容などを中心にして、一人あたり30分程度実施します。</p> <p>【評価基準】研究意欲、研究能力等について3段階で評価します。</p>

④ 合否判定基準

合否判定は、筆記試験の成績、口述試験の成績及び出願書類を総合して行います。

⑤ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、各試験開始20分前までに指定された試験室（控室）に入室してください。
- イ 筆記試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- ウ 口述試験開始時刻に受験者控室に不在であった場合は、欠席したものと取り扱います。
- エ 当日は、本学の受験票を必ず持参してください。当日、本学の受験票を忘れた者は、速やかに仮受験票発行所で仮受験票の交付を受けてください。
- オ 試験時間中に使用を許可する時計は、計時機能のみのものに限り、携帯電話等の使用は認めません。

(2) 社会人入試

① 学力検査等の実施日程

日程	時間割			
平成30年 7月21日（土）	12:10	14:10	14:50	17:00
		筆記試験 (共通問題及び 小論文)		口述試験

② 試験会場

広島市立大学（広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号）

③ 学力検査の配点及び内容等

試験科目（配点等）		学力検査の内容及び評価基準	
筆記試験	共通問題 (50点)	120分	【内容】現代社会を理解するために必要と思われる基本的用語（キーワード）に関して、100字以内でその解説を求めます。 【評価基準】基本的用語の理解度を点数化して評価します。
	小論文 (150点)		【内容】出題したテーマについて、小論文の作成を求めます。原則として日本語による出題ですが、専攻分野によっては外国語による出題もあります。 【評価基準】志願研究領域（授業科目）にかかわる研究能力、論理的思考力、文章表現力等について点数化して評価します。
口述試験 (ABCの3段階評価)			【内容】提出された研究計画書、参考となる資料、志望する研究領域（授業科目）の内容などを中心にして、一人あたり30分程度実施します。 【評価基準】研究意欲、研究能力等について3段階で評価します。

④ 合否判定基準

合否判定は、筆記試験の成績、口述試験の成績及び出願書類を総合して行います。

⑤ 受験上の注意事項

- ア 受験者は、各試験開始20分前までに指定された試験室（控室）に入室してください。
- イ 筆記試験開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- ウ 口述試験開始時刻に受験者控室に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- エ 当日は、本学の受験票を必ず持参してください。当日、本学の受験票を忘れた者は、速やかに仮受験票発行所で仮受験票の交付を受けてください。
- オ 試験時間中に使用を許可する時計は、計時機能のみのものに限り、携帯電話等の使用は認めません。

10 合格者発表

平成30年7月27日（金）午前10時

本学の本部棟前掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

また、本学ウェブサイト（<http://www.hiroshima-cu.ac.jp/>）でも合格者の受験番号を掲載しますが、参考情報ですので、本学の本部棟前掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

なお、電話、メール、郵便等による問い合わせには応じません。

11 入学手続

(1) 入学手続期間

平成30年12月10日（月）から12月14日（金）まで（最終日は午後5時必着）

(2) 入学手続方法

- ① 合格者には、平成30年11月上旬に入学手続に必要な書類等を送付します。
- ② 入学手続は、郵送又は持参の方法により行ってください。

郵送による場合は必ず**書留速達郵便**とし、封筒表面に「**入学手続書類在中**」と赤字で記載のうえ、**入学手続期間内に必着するよう送付してください。**

持参の場合の受付場所は本学事務局入試グループ（本部棟2階）です。受付時間は、午前9時から午後5時までです。

- ③ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。

(3) 提出書類

- ① 本学の受験票
- ② 誓約書（本学所定の様式）
- ③ 保証書（本学所定の様式）
- ④ 写真1枚（上半身、無帽、正面向き、背景なしで最近3か月以内に撮影した、縦4cm×横3cmのもの。裏面に合格した研究科名及び氏名を記入してください。）
- ⑤ 住民票の写し（11ページ「12 納付金等」の入学料が「広島市内の者」に該当する方のみ、その証明として必要になります。合格者本人が広島市内の者である場合は、本人分のみの住民票の写しを用意してください。その他の場合は、合格通知書に同封して郵送する提出書類に関する通知をお読みください。）

(4) 入学手続先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学事務局入試グループ

電話 082-830-1503

(5) 入学手続上の注意

- ① 期間内に手続を行わなかった者については、入学を辞退したものと取り扱います。
- ② 必要な書類がすべて揃っていない場合には受付できませんので、書類の提出の際には、十分確認してください。
- ③ **いったん受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。**
- ④ **卒業見込で出願した者は、卒業後、速やかに卒業証明書を提出しなければなりません。**

1.2 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

納付金		金額
入 学 料	広島市内の者	282,000円
	上記以外の者	423,000円

(注) 「広島市内の者」とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ア 平成30年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
- イ 配偶者又は1親等の親族が平成30年4月1日以前から引き続き広島市内に住所を有する者
- ウ その他これらに準ずると本学が認める者

(2) 3月末までに納付するもの

納付金	金額
後援会費	20,000円

(注) 後援会費には、学生教育研究災害傷害保険料・学生教育研究賠償責任保険料が含まれています。

(3) 入学後に納付するもの

納付金	金額	納付時期
授業料 (年額535,800円)	267,900円	4月末まで
	267,900円	10月末まで

(注1) 金額は、平成30年度の金額です。改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される予定です。

(注2) 「長期履修学生」の授業料(年額)は、修業年限に相当する授業料の総額を、長期履修期間の年数で除して得た額になります(「長期履修学生」については3ページを参照)。

(4) 入学料・授業料の減免等

① 入学料の減免

次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。

- ア 入学前1年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合
- イ 入学前1年以内に、入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ウ 入学する者が広島市内の者であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合

② 授業料の減免又は徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳しくは、入学後の説明会でお知らせします。

国際学研究所（博士前期課程）教員及び担当授業科目一覧

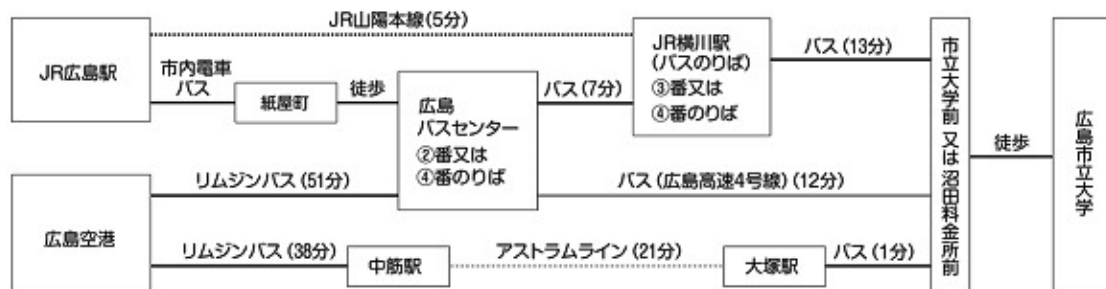
研究群	教員		担当授業科目	専門
国際関係研究群	准教授	西田 竜也	国際安全保障論	国際安全保障論, 国際関係論, 国際協力
	教授(平)	水本 和実	現代軍縮・平和論	国際政治・国際関係論(核軍縮, 安全保障)
	准教授	古澤 嘉朗	紛争解決論	紛争解決論, 国際関係論
	教授	吉田 晴彦	国際協力論	平和研究・国際協力論, 国際関係論
	教授(平)	永井 均	日本近現代史	日本近現代史
	准教授	飯島 典子	中国国際関係史	中国近代史, 華僑論
	教授	金 栄鎬	東北アジア政治論	政治学・国際関係, 現代韓国朝鮮研究
	准教授(平)	孫 賢鎮	東北アジア国際関係論	国際法学
	准教授	板谷 大世	東南アジア政治論	東南アジア研究, 開発政治論, 政治学
	教授	大庭 千恵子	ヨーロッパ国際関係史	ヨーロッパ国際関係史
	准教授	倉科 一希	アメリカ政治外交論	国際関係史
	講師	斎藤 祥平	ロシア国際関係史	ロシア研究
	教授(平)	湯浅 剛	国際機構論, 中央アジア国際政治論	ポスト・ソ連空間の地域機構, 安全保障, 政治変動
	准教授(平)	竹本 真希子	ヨーロッパ平和論	ドイツ近現代史, 平和思想・平和運動史
	准教授(平)	徐 顕芬	東アジア国際関係史	国際関係論, 地域研究
公共政策研究群	教授	太田 育子	国際法	国際法, 国際人権法
	准教授(平)	福井 康人	Conflict and Security Law	国際法学, 国際関係論
	教授	高橋 広雅	経済政策論	経済政策論
	講師	目黒 紀夫	国際開発論	環境社会学, アフリカ地域研究, 国際開発論
	教授(平)	GANESAN, Narayanan	Development Issues in Southeast Asia	東南アジア政治, 国際関係
	教授	金谷 信子	非営利組織論	非営利組織論, 公共政策, 社会福祉政策
	准教授	山根 史博	環境経済学	環境経済学, 計量経済学, リスク認知学
	教授	寺田 英子	都市経済学	交通経済学, 財政学
	准教授	卜部 匡司	比較国際教育学 持続可能な開発のための 教育(ESD)論	比較国際教育学
	教授	井上 泰浩	情報メディア論	マスメディア, 国際コミュニケーション
	教授	山口 光明	健康心理学	健康心理
准教授(平)	河上 暁弘	日本国憲法	公共学, 政治学	

研究群	教員		担当授業科目	専門
経営政策研究群	教授	李 在鎬	国際経営論	国際経営論, サプライ・チェーン・マネジメント論
	講師	李 玲	マーケティング論	マーケティング論
	准教授	ARIF, Nurhaizal Azam	多国籍企業論	多国籍企業論, International Business
	准教授	高久 賢也	国際金融論	国際金融論, 国際マクロ経済学
	准教授	井手吉 成佳	会計学	会計学, 国際会計論
	准教授	城多 努	公会計論	財務管理, 公会計
	講師	寺井 里沙	国際商務論	国際貿易論, 国際商務論
社会文化研究群	教授	柿木 伸之	現代思想	哲学, 美学
	教授	湯浅 正恵	現代社会論	社会学, 国際社会論
	教授(平)	直野 章子	現代日本社会論	社会学
	教授	WÖHR, Ulrike	ジェンダー論	日本研究, ジェンダー研究
	准教授	山口 えり	日本文化論	日本文化論, 日本古代史
	教授(平)	JACOBS, Robert A.	American Cultural History	歴史学(核兵器の文化と戦争史, 米国の冷戦史と文化, 科学技術の文化史)
	准教授	吉江 貴文	ラテンアメリカ文化論	文化人類学
	准教授	田浪 亜央江	中東イスラーム社会論	中東地域研究, アラブ社会文化論
	教授	田川 玄	アフリカ文化人類学	文化人類学
言語文化研究群	教授	青木 信之	英語教育論	英語教育学
	准教授	武藤 彩加	日本語教育論	認知言語学, 現代日本語学, 日本語教育
	教授	岩井 千秋	応用言語論	応用言語論
	教授	横山 知幸	翻訳論	翻訳論
	教授	渡辺 智恵	通訳論	通訳技法論
	講師	原 雅樹	イギリス文学・文化論	イギリス文学
	准教授	大場 静枝	フランス文学・文化論	フランス文学, フランス語圏の地域研究
	准教授	GORMAN, Michael	American Literature and Culture	アメリカ文学
	准教授	CARSON, Luke	Cross-cultural Psychology and Communication	TESL/TEFL, 異文化間コミュニケーション

備考1 (平)の教員は、広島平和研究所の所属です。

2 教員及び担当授業科目は平成30年5月1日現在のものです。

試験会場案内



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すく、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。

広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南」方面行きのバスには、

「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。